

## 「英語コミュニケーションⅠ」単元ごとの指導と評価の計画

愛知県立幸田高等学校

教諭 戸田 康弘

### 1 日時・実施場所

〈省略〉

### 2 学 級

〈省略〉

### 3 学 級 観

〈省略〉

### 4 教 材

〈省略〉

### 5 単元の目標

ペットと人間の関係に関する文章を聞いたり読んだりして、概要や要点、詳細を捉えるとともに、その内容や言語材料を活用して自分の考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合うことができる。

### 6 関係する領域別目標（学年のCAN-DO）

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭や学校における身近な話題についての情報や説明を聞いて、基本的な意図や概要を捉えることができる。</li><li>・既習の基本的な表現や強調される点に注意しながら、内容を聞き取ることができる。</li></ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭や学校における身近な話題やメール、パンフレットなどから必要な情報や説明を読み取ったり、相手からの指示を理解したりすることができる。</li><li>・重要な表現を適切に発音することができる。</li></ul>
話すこと [やり取り]	<ul style="list-style-type: none"><li>・身近な情報や自分の考えを、即興で話して伝え合ったり、意見の交換をしたりすることができる。</li><li>・文法的な間違いを恐れずに、会話を継続しながら相手とやり取りできる。</li></ul>
話すこと [発表]	<ul style="list-style-type: none"><li>・身近な情報や自分の考えを簡潔にまとめ、理由や具体例を交えながら 30 秒程度で発表することができる。</li><li>・学んだことや経験したことに基づき、簡潔に情報や意見をまとめることができる。</li></ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭や学校生活などの日常生活における自分の考えを 20 語程度で簡潔に書き表すことができる。</li><li>・既習の基本的な表現を用いながら、自分の考えを書くことができる。</li><li>・家庭や学校生活などの日常生活で聞いたり読んだりしたこと、学んだことや体験したことの概要や要点、その話題に関する意見やその理由を 50 語程度で書くことができる。</li></ul>

## 7 単元の評価規準（五つの領域ごとの評価規準の設定）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットや動物に関する文章を聞き取るために必要な発音や語彙を理解している。</li> <li>ペットや動物に関する文章を聞き取る技能を身に付けている。</li> </ul>	自分の考えを発表するために、ペットや動物に関する文章を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えている。	/
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットや動物に関する文章を読み取るために必要な語彙や文法を理解している。</li> <li>ペットや動物に関する文章を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	自分の考えを発表するために、ペットや動物に関する説明文を読んで、概要や要点、詳細を整理して捉えている。	
話すこと [やりとり]	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報や考えを述べるために必要な語彙や表現、文におけるイントネーションを理解している。</li> <li>ペットや動物について相手の質問に対して更に会話を発展させる技能を身に付けている。</li> </ul>	ペットや動物について更に会話を発展させるように、詳しく自分の考えを述べたり、相手の質問に対する答えを自分の言葉で伝えている。	ペットや動物について更に会話を発展させるように、詳しく自分の考えを述べたり、相手の質問に対する答えを自分の言葉で伝えようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報や考えを書いて伝えるために必要な語彙や理由を表す表現を理解している。</li> <li>情報や考えを書いて伝える技能を身に付けている。</li> </ul>	読み手に自分の考えをよく理解してもらえるように、ペットや動物について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、関連する情報や具体例を書いて伝えている。	/

## 8 パフォーマンステスト

○領域

話すこと [やりとり]

○内容

授業者とのインタビュー形式で、自分が飼ってみたいペットと、なぜその動物を飼いたいかについて、理由を含めて説明する。また、「知識・技能」の観点はカードの音読及び第5文型の用法（ここでは name OC）について評価する。

○「思考・判断・表現」についての三つの条件

条件1：最初の挨拶をスムーズに述べている。

条件2：飼いたいペットとその理由を述べている。
条件3：飼ってみたいペットに付けたい名前とその理由を述べている。

○採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手に分かりやすい正確な発音、意味のまとまりを意識して話して伝えている。</li> <li>動詞 name を適切に使用している。</li> </ul>	三つの条件を満たした上で、更に詳細や自分の考えを述べている。	表情、アイコンタクト等、相手に配慮してコミュニケーションを取っている。
b	<ul style="list-style-type: none"> <li>多少の誤りはあるが、理解に支障のない発音、意味のまとまりを意識して話して伝えている。</li> <li>動詞 name を使用している。</li> </ul>	三つの条件を満たして話して伝えている。	コミュニケーションを取っている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

「十分満足できる」状況と判断されるもの：a

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：b

「努力を要する」状況と判断されるもの：c

9 単元の指導計画 ※網掛けは記録に残す評価の場面。

(聞…聞くこと、読…読むこと、や…話すこと [やり取り]、発…話すこと [発表]、書…書くこと)

時間	ねらい (■)、言語活動 (丸数字)	内容のまとまり					生徒の活動状況を見届ける観点 (【 】)・方法 (○)
		聞	読	や	発	書	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■単元の目標を理解する。</li> <li>■単元内容の背景となる知識を活性化する。</li> <li>①授業者による Oral Introduction を聞き、内容を確認するとともに、ペアで感想を述べ合う。</li> <li>②ワークシートの問いに答える。</li> <li>③ペットについて、ペアで質問しながらやり取りを行う。</li> <li>④単元の目標 (ペアで話し合った内容を基に、飼いたいペットや動物について自分の考えを伝え合うこと)を確認する。</li> </ul>	○		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</li> <li>【思】概要や要点を適切に捉えているか。</li> <li>【態】積極的に自分の意見を伝えようとしているか。</li> <li>○ワークシート</li> <li>○活動の観察</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■パート1から3の内容を理解し、それに関連する話題について感想や意見を伝え合う。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】論理構成上必要な語彙・表現を適切に使用しているか。</li> </ul>

2 ～ 7	<p>①教科書本文を読み、必要な語彙を確認しながら、内容を理解する。</p> <p>②読み取った内容について、リスニング、英問英答、空所補充による要約などを、ワークシートの問いで確認する。問いに応じてペアやグループで確認する。</p> <p>③関連する話題についてペアで会話をする（各パートのトピックを用いたスマールトーク）。用意された疑問文に答えるとともに、あいづちや聞き返しの表現を交えつつ、更に会話が発展するように工夫する。</p> <p>④スマールトークの後、振り返りシート（資料1）に自己評価とペアの評価、感想や相手に伝えたかったけれども表現できなかったことなどを記録する。</p>	○	○	○	○	<p>【思】論理性に注意して相手に伝えているか。</p> <p>【態】会話が継続するよう工夫しているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p> <p>○振り返りシート</p>
8	<p>■パフォーマンステストの説明・準備（資料2）をする。</p> <p>①ループリックを提示し、質問の答え、やり取りの内容を考える。</p> <p>②準備ができたなら、ペアで練習する。</p>			○		<p>【知】学んだ語彙や表現を復習しながら使用しているか。</p> <p>【思】質問に対する適切なやり取りを考えているか。</p> <p>○活動の観察</p>
9	<p>パフォーマンステスト</p> <p>・自分が飼ってみたいペットについて、なぜその動物を飼いたいか、理由を含めて説明する。また、「知識・技能」の観点から発音及び第5文型（ここでは name O C）が適切に使えるかを評価する。</p>			知 思 態		<p>※採点の基準等は「8 パフォーマンステスト」を参照。</p>
後 日	定期考査	知 思	知 思			知 思

Small Talk 振り返り

◎ ○ △ ×

◎ ○ △ ×

Class ( ) No. ( ) Name ( )

回数	日付	評価項目	自己評価	相手からの評価	次回に向けて
①	( )	表情◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Small Talk 内でうまく言えなかったこと、相手の発言で聞き取れなかったところなどを記録する。</li> <li>・ 自分で主体的に調べたり質問し、表現や語彙を増やす。</li> <li>・ その他全体的な感想、反省も書いておく。</li> </ul>
		アイコンタクト	あいづちや、反応の表現		
		相手への反応			
②	( )	相手の名前	◎	◎	◎○△×の4段階で相互評価
		表情◎	○	△	
		アイコンタクト	△	△	
③	( )	相手への反応	○	○	
		表情◎			
		アイコンタクト			
④	( )	相手への反応			
		表情◎			
		アイコンタクト			
⑤	( )	相手への反応			
		表情◎			
		アイコンタクト			
⑥	( )	相手への反応			
		表情◎			
		アイコンタクト			
⑦	( )	相手への反応			
		表情◎			
		アイコンタクト			
⑧	( )	相手への反応			
		表情◎			
		アイコンタクト			
⑨	( )	相手への反応			
		表情◎			
		アイコンタクト			
⑩	( )	相手への反応			
		表情◎			
		アイコンタクト			
⑪	( )	相手への反応			
		表情◎			
		アイコンタクト			
⑫	( )	相手への反応			
		表情◎			
		アイコンタクト			

## 英語コミュニケーション I パフォーマンステスト

## 1 内容(話すこと「やりとり」)

教科書の内容を振り返りつつ、自身が飼ってみたいペットについて理由とともに伝え、それを元にしたやり取りを、授業者とのインタビュー形式で行う。

## 2 テストの流れ

## ① 挨拶&amp;small Talk.

T: Hi, ○○. How are you doing?

S: \_\_\_\_\_.

T: What time did you go to bed last night? など

※日々の small talk より一般的な質問。

S: \_\_\_\_\_.

## ② 音読テスト(教科書の Summary)

発音や意味のまとまりを意識して読めているか評価します!

※音読教材は教科書の Summary

## ③ 質問1:飼いたいペットとその理由

T: What animal do you want to have as a pet?

S: \_\_\_\_\_.

T: Why?

S: Because \_\_\_\_\_ . (+α)

理由に加え、更に詳細な情報や自分の考えを言うことができれば高評価!

## ④ 質問2:そのペットにどんな名前を付けるか。

動詞 name が正しく使えるか評価します!

T: What will you name it?

S: I'll name \_\_\_\_\_ .

O C

## ⑤ 質問3:質問2の答えについての理由

T: Why do you choose that name?

S: Because \_\_\_\_\_ .

### 3 ルーズリック

評価項目	A	B	C
①挨拶 & small talk 【思】	最初の挨拶がスムーズにでき、後に続く質問にも受け答えができた。	最初の挨拶がスムーズにできた。	最低限の挨拶ができなかった。
②音読 【知】	明らかな発音のミスが0個	明らかな発音のミスが1～2個	明らかな発音のミスが3個以上
	音声の切れ目が不自然な文が0か所	音声の切れ目が不自然な文が1～2文以内	音声の切れ目が不自然な文が3文以上
③質問1 【思】	飼いたいペットとその理由に加え、更に詳細を伝えることができた。	飼いたいペットとその理由を伝えることができた。	伝えることができなかった。
④質問2 【知】	動詞 name を適切に用いて答えることができた。	動詞 name を用いて答えることができた。	動詞 name の用法に誤りがある。または、答えることができなかった。
⑤質問3 【思】	質問2の理由を適切に伝えることができた。	質問2の理由を伝えることができた。	伝えることができなかった。
⑥相手への配慮 【主】	表情、アイコンタクト等、相手に配慮してコミュニケーションが取れた。	コミュニケーションが支障なく取れた。	英語でのやり取りができなかった。

※①③④⑤については10秒以内に返答ができなかった場合、評価はCとする

### 4 テスト後の振り返り(できたこと、できるようになりたいこと、ふだんの授業で心がけたいこと)


英語コミュニケーション I パフォーマンステスト(授業者用)

《テストの流れの具体例》

<p>挨拶 &amp; Small Talk</p>	<p>T: Hi, ○○. <b>How are you doing?</b> S: I'm sleepy. T: Oh, really? <b>What time did you go to bed last night?</b>など S: Ah..., 11 o'clock.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶ができ、その後の質問にも受け答えができる。【思】</li> </ul>
<p>音読 テスト</p>	<p>T: Ok, ○○, let's start test. <b>First, look at the card on the desk and read it aloud.</b> ※音読教材は教科書の Summary</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発音ができる。【知】</li> <li>・意味のまとまりごとの切れ目を意識して音読できている。【知】</li> </ul>
<p>インタ ビュー テスト</p>	<p><b>質問 1</b> T: Ok, now I'm going to ask you a question. <b>What animal do you want to have as a pet?</b> S: I want to have a cat. T: Oh, you want to have a cat. <b>Why?</b> S: <b>Because it is really cute! Recently I saw many cute photos of a cat on Instagram!</b></p> <p><b>質問 2</b> T: Ok. So, if you have a cat, <b>what will you name it?</b> S: Uh..., maybe, I'll name it ○○.</p> <p><b>質問 3</b> T: Interesting! <b>Why do you choose that name?</b> S: <b>It's my favorite anime character name.</b>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼いたいペットとその理由を答えることができる。より詳しい背景などの説明や自分の考えが言えたら評価を A にする。また、理由のみの場合でも授業者からの質問に答えることができたら評価は A とする。【思】</li> <li>・動詞 name を適切に使い答えることができる。【知】</li> <li>・質問 2 の理由を述べることができる。【思】</li> </ul>
<p>終了</p>	<p>T: All right. You did really good job! Nice talking with you. S: Nice talking with you, too. See you!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的にコミュニケーションを取ろうとする態度(表情、アイコンタクト等)が見られたか。【主】</li> </ul>



**【授業者用採点用紙】**

※音読教材は教科書の Summary

評価項目	A (5点)	B (3点)	C (0点)
①挨拶 & small talk 【思】	最初の挨拶がスムーズにでき、後に続く質問にも受け答えができた。	最初の挨拶がスムーズにできた。	最低限の挨拶ができなかった。
②音読 【知】	明らかな発音のミスが0個	明らかな発音のミスが1～2個	明らかな発音のミスが3個以上
	音声の切れ目が不自然な文が0か所	音声の切れ目が不自然な文が1～2文以内	音声の切れ目が不自然な文が3文以上
③質問1 【思】	飼いたいペットとその理由に加え、更に詳細を伝えることができた。	飼いたいペットとその理由を伝えることができた。	伝えることができなかった。
④質問2 【知】	動詞 name を適切に用いて答えることができた。	動詞 name を用いて答えることができた。	動詞 name の用法に誤りがある。または、答えることができなかった。
⑤質問3 【思】	質問2の理由を適切に伝えることができた。	質問2の理由を伝えることができた。	伝えることができなかった。
⑥相手への配慮 【主】	表情、アイコンタクト等、相手に配慮してコミュニケーションが取れた。	コミュニケーションが支障なく取れた。	英語でのやり取りができなかった。

知 / 15      思 / 15      主 / 5

(      ) 年 (      ) 組 (      ) 番 氏名 (      )

## 単元における授業内での振り返りとパフォーマンステストについて

### 1 授業内での振り返り

振り返りシート（資料1）を利用し、各パートのスマールトーク後に振り返りを行う。パフォーマンステストで「主体的に学習に取り組む態度」の評価につながる表情、アイコンタクト等を生徒同士で相互評価する。うまく伝えられなかったことや相手の発言の中での自分が知らない単語などについても記録を残し、主体的に調べることにより表現力や語彙力の向上につなげる。

### 2 パフォーマンステストの評価と留意点（資料2）

#### (1) 挨拶【思考・判断・表現】

ふだんの授業やスマールトークの最初に行う内容で実施する。

#### (2) 音読【知識・技能】

発音や自然な文の切れ目については生徒にモデルを示した上で、許容範囲はなるべく広く設定する。

#### (3) 質問1【思考・判断・表現】

ここでは文法的な正確さは評価しない。理由に加えて更に詳細や自分の考えなどを述べた場合は評価を a とする。また、理由のみを述べた場合は、授業者から追加の質問を行い、応答できた場合は評価を a とする。

《評価 a の例》

ア Because I want to swim with a platypus. But I can't keep it in Japan.

イ Because it (a hamster) is very small and cute! It is small enough to put in my pocket.

ウ Because they (cats) are very cute. When I visited my friend's house, I saw a very cute cat. I healed by the cat. (正確には was healed だが、ここでは不問とする。)

エ 生徒: Because it (a dog) is cute.

授業者: Does anyone around you keep a dog?

生徒: Ah, yes. My grandmother's house..., very big dog.

#### (4) 質問2【知識・技能】

call O C が正しく使われているかを確認する。

#### (5) 質問3【思考・判断・表現】

ここでは文法的な正確さは評価しない。その名前を選んだ理由を適切に述べることができたかを評価する。

#### (6) 相手への配慮【主体的に学習に取り組む態度】

ふだんの授業の中で行っているスマールトークで、コミュニケーションのために必要な相手への配慮として指導している表情、アイコンタクト等を評価する。評価の際には授業内での振り返りシートや、パフォーマンステスト後の振り返りの記述も参考にする。

### 3 参考資料

・ Grove English Communication I. 文英堂. 2021